

わん・にゃんフリーパス取扱説明書

この度は、モリソンの製品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品の取付方法及び使い方及び注意事項について記載しています。
安全にお使いいただくために、本製品をご使用前に、この説明書をよくお読みいただき、
内容を理解されてから、正しくお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

また、施工業者様が取り付けられた場合は、施工後、お客様へ必ずお渡しください。

取扱説明書に記載した注意事項は製品の性能・機能及び強度や安全性を確保する上での
重要な内容です。そのため製品の取り扱いについて、次のような警告表示をしております。
内容をご理解の上、必ずお守りください。

もくじ

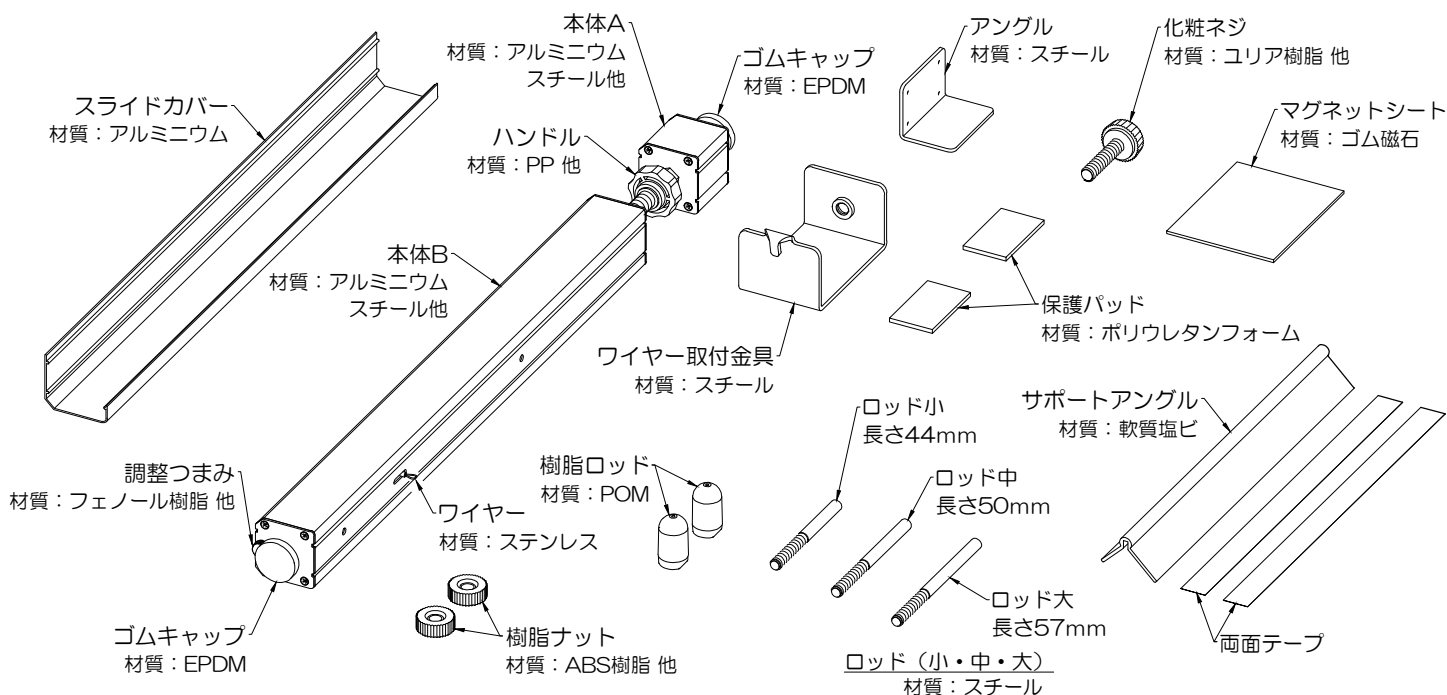
取り付け前の準備	2
製品の取付方法	3～6
サポートアングルについて	7
サポートアングルの取付方法	7
取付動画のご案内	7
困ったときは	8
よくあるご質問	11

絵表示	意 味
△ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者などが負傷する恐れや、物的損害の発生が予想されることを示しています。

△ 注意

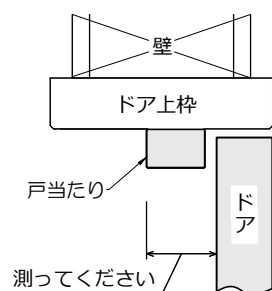
- ご使用前に必ず製品各部を点検してからご使用ください。ご使用前・ご使用中に異常に気づいた場合はご使用にならないで購入店までご連絡ください。
- 本製品は屋内用木製ドア専用の製品です。鉄扉等への取り付けはできません。
- ドアクローザー等の開閉補助装置が付いたドアには取り付けできません。
- ガラス入りドアで、上部までガラスが入っているドアの場合はご使用できません。
- 本製品はドアの縦枠間で突っ張って使用する開閉装置です。それ以外の用途にはご使用にならないでください。
- 本製品を改造しての使用や、部品の代用はしないでください。事故や破損の原因となります。
- 設置するドア枠の強度を十分ご確認ください。
- ドアの質量は22kgまでです。それ以上の質量の場合、正常に動作しない場合があります。
- 本製品の使用可能温度範囲は0℃～40℃までです。
- ドアの質量や大きさ、使用環境によってドアの作動速度やドアの開く量が異なる場合があります。
- 取り付け1～2日後に、しっかりと取り付けられているか確認し、弱いときは設置し直してください。
- 定期的に突っ張り部分が緩んでいないかのチェック・点検をおこない、ハンドルのしめ直し作業を必ずおこなってください。
- 本製品には形状的に尖った部分がありますので、取り付けや操作の際はケガに十分注意しておこなってください。
- 製品にぶら下がったり、物をかけたりしないでください。また、手荒いドアの開閉や、強風によって強い衝撃をあたえると破損・製品の落下・ケガの原因となりますので十分に注意してください。
- 台に乗って取り付ける場合は、転倒にご注意ください。
- 製品動作の際、製品本体より衝突音が発生します。
- 本製品は、室内ドアの開閉を補助する製品です。指づめなどを防止するものではありません。
- 本製品を使用しないときは、取り外してください。
- 製品の取り外しは設置手順の逆をおこなってください。無理に外そうとすると製品の破損やドア枠を傷つける場合がありますので絶対にしないでください。
- 本製品はドアの縦枠に強力に固定しますので、ドア枠の材質によっては両端についているゴムの内容物の析出や移行により変色や変質、跡形が残る場合があります。
- 以下の場合は製品が正常に作動しない場合があります。
 - ・蝶番の施工不良により開閉に負荷がかかっている場合・蝶番の芯ずれなど、蝶番に不具合がある場合・気密性の高いドアやサッシ(エアタイト)を使用している場合・換気扇を使用している場合・風が入り込む部屋や気密性の高い部屋の場合・ドアが床やドア枠、カーペットなどにすれている場合・ドアの建て付けが悪く閉まりにくい場合・ドアのラッチの動作が重い場合

■各部の名称・材質・梱包内容の確認 ※取り付け前に、部品をご確認ください。



【手順1】距離の計測

巻尺などで戸当たりからドアの距離を測ってください。



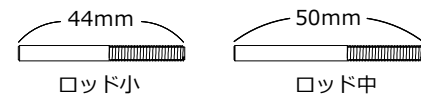
横から見た図

【手順2】ロッドの選定

測った距離に応じたロッドを選択してください。

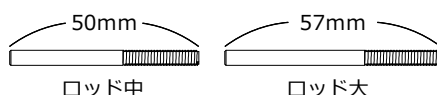
23mm～29mmの場合

→「ロッド小」・「ロッド中」を使用します



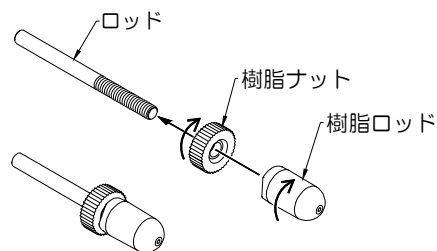
29mm～35mmの場合

→「ロッド中」・「ロッド大」を使用します



【手順3】ロッドの組み立て

手順2で選択したロッドを図のように組み立てます。

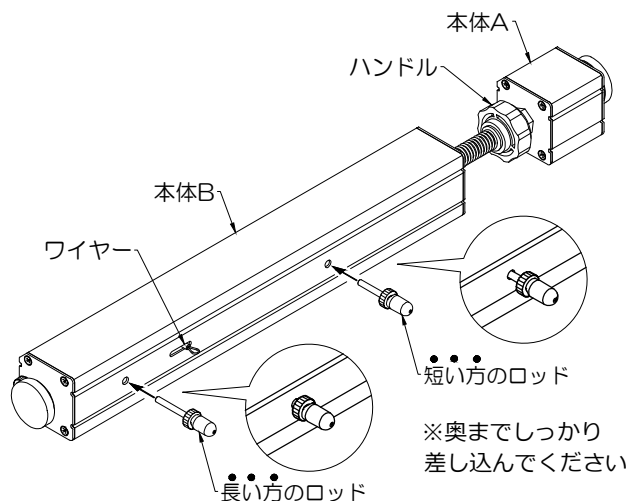


完成図

※2本同じように組み立ててください。
※樹脂ナット・樹脂ロッド共に最後までしめてください。

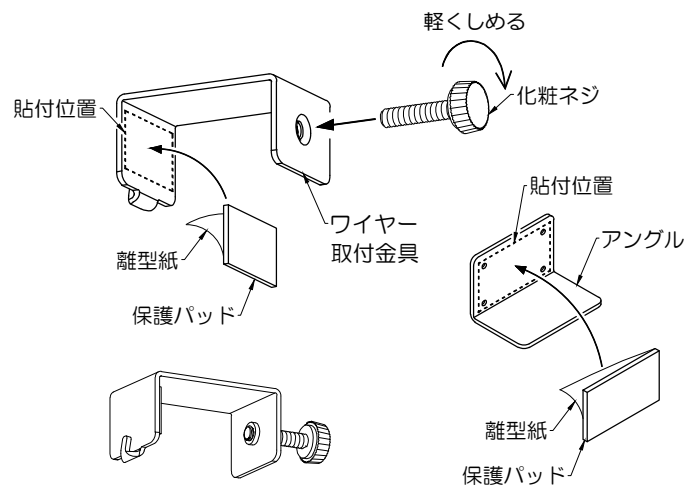
【手順4】ロッドの取り付け

ロッドの長さが「短い方のロッド」をハンドル側の穴に、「長い方のロッド」をワイヤー側の穴に差し込みます。



【手順5】ワイヤー取付金具の組み立て

ワイヤー取付金具に化粧ネジを軽くしめて取り付け、保護パッドの離型紙をはがし点線の位置に貼り付けます。アングルにも保護パッドを点線の位置に貼りつけてください。



完成図

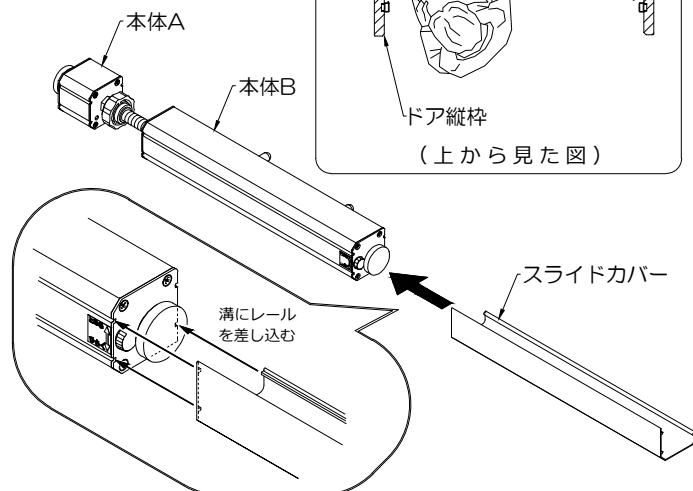
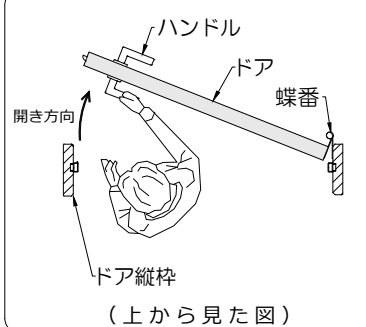
※P4 【手順6】 【手順7】で使用します。

【手順6】スライドカバーの取り付け

設置するドアの開き方向を確認してください。ドアの開き方向によりスライドカバーの取付方向が変わります。スライドカバーのレールと、本体Bの溝を合わせ、スライドさせて差し込んでください。

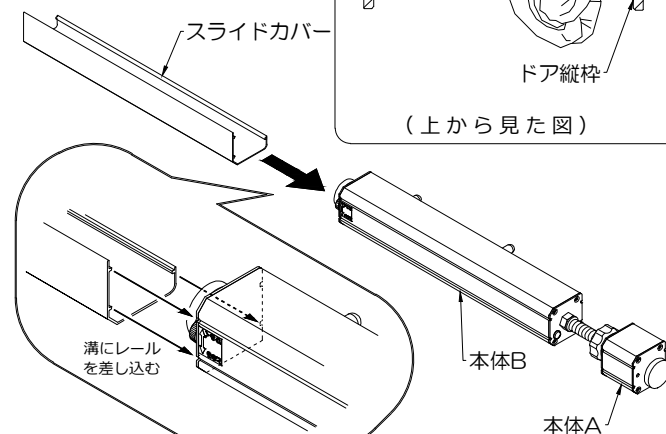
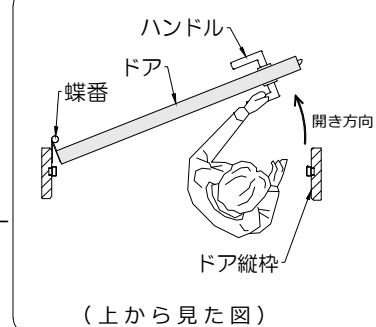
左開きドアの場合

左開きドアの概要図



右開きドアの場合

右開きドアの概要図

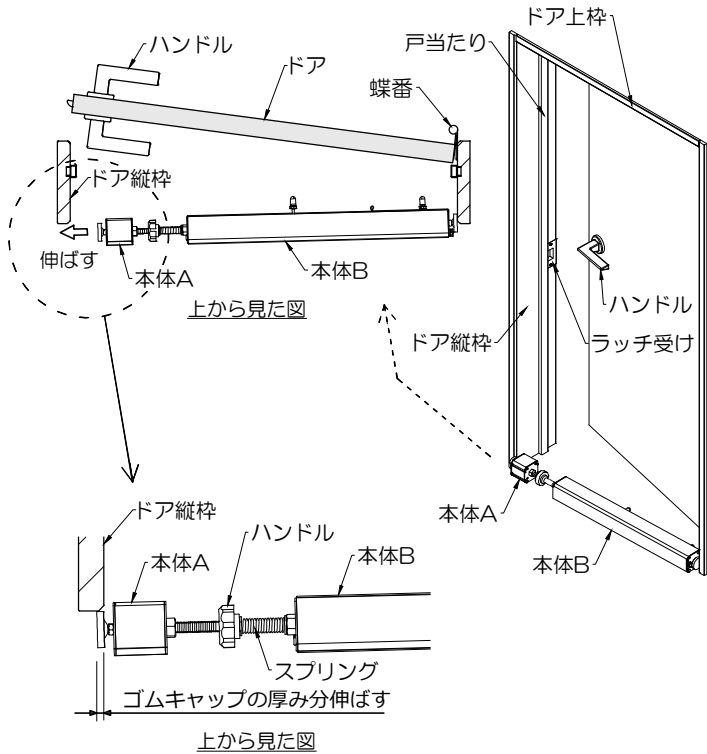


製品の取付方法

※説明は左開きの場合です。右開きの場合は左右反転で作業を行ってください。

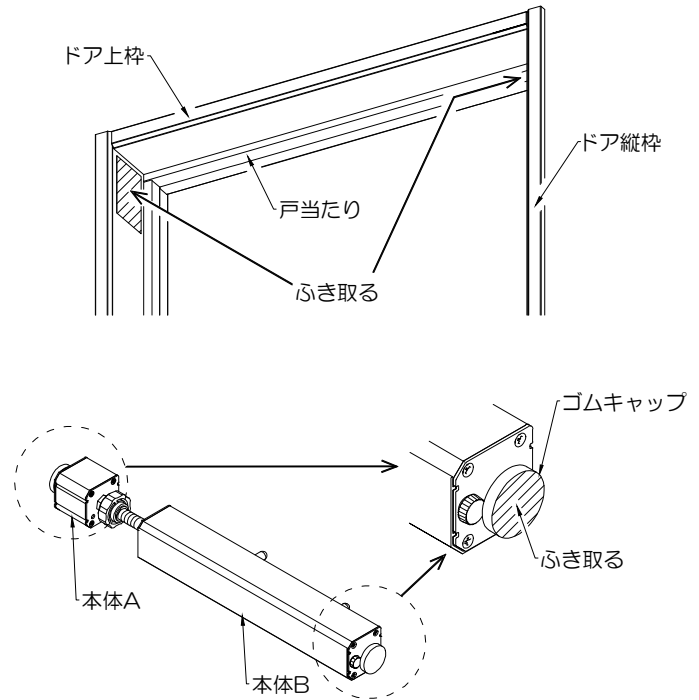
【手順1】本体の長さ調整

製品を床に置き、ドアの幅よりゴムキャップの厚み分だけ長くなるように、ハンドルをまわして調整します。



【手順2】本体とドア枠取り付け面の清掃

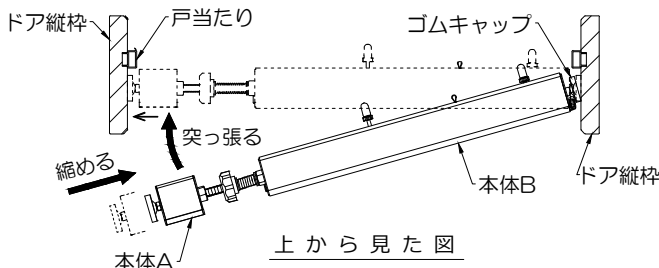
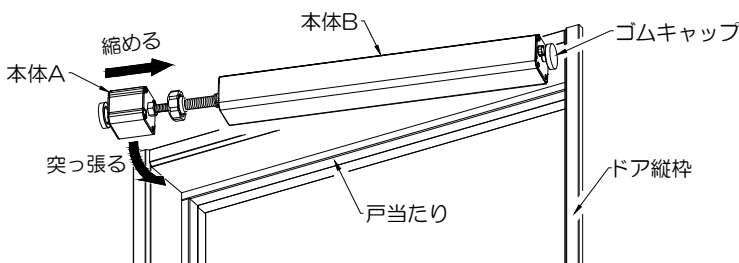
取り付け前に、製品を取り付けるドア枠の面と、本体のゴムキャップを固く絞ったタオルなどで汚れをふき取ってください。



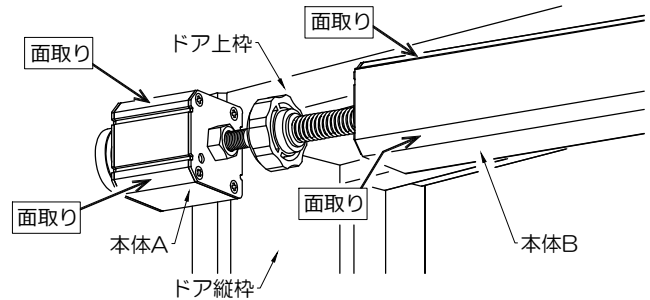
【手順3】本体の取り付け

本体をドア上部のドア枠間で突っ張り、スプリングが完全に縮まるまでハンドルを回して製品を固定します。

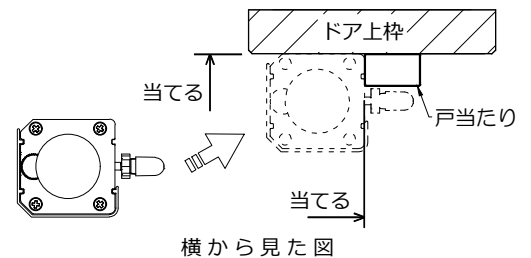
Step.1 本体A・Bの向きをそろえ、本体Bのゴムキャップをドア縦枠に押し当てた状態で本体Aを押しながら製品を縮め、ドア縦枠間で突っ張ります。



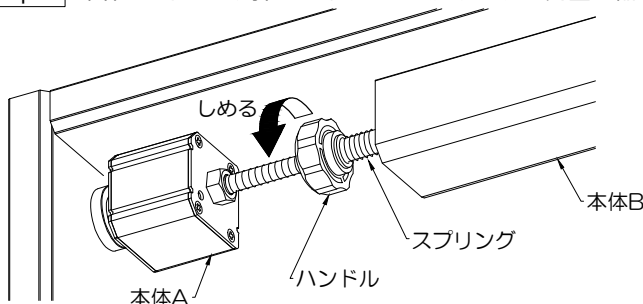
注意 下図のように、本体A・Bの向きをそろえて突っ張ってください。



注意 製品を「ドア上枠」と「戸当たり」にしっかり当てて突っ張ってください。



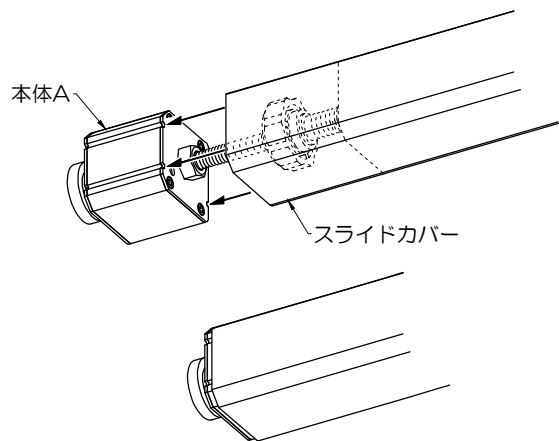
Step.2 本体Bをしっかり押さえながら、スプリングが完全に縮まるまでハンドルを回して製品を固定します。



注意 スプリングが完全に縮まるまでしっかりハンドルを回してください。

【手順4】スライドカバーの移動

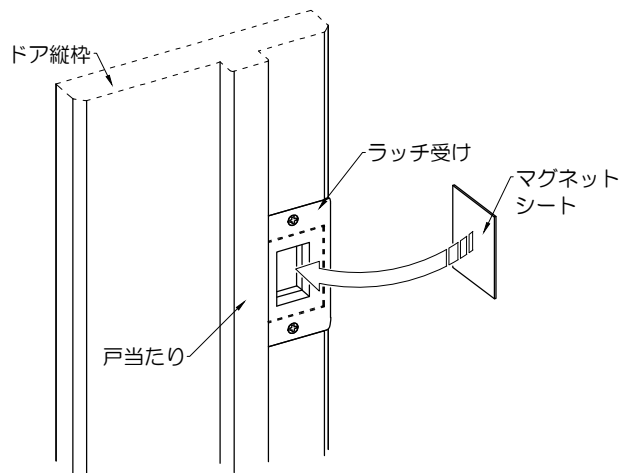
製品の固定後、スライドカバーを本体Aにスライドさせてください。ドア縦枠のラッチ受け穴（凹部）をマグネットシートで覆うように取り付けます。 ※磁力が強い方の面で取り付けてください。



完成図

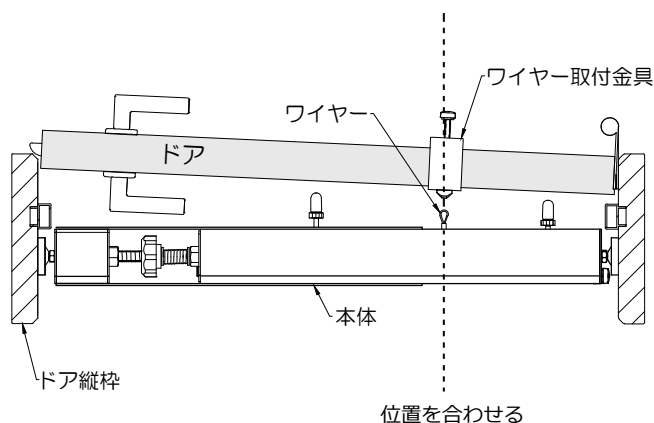
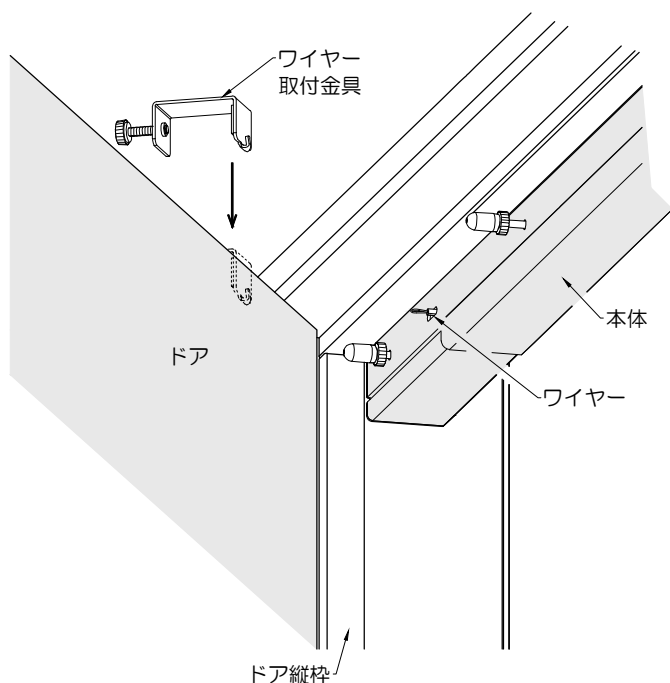
【手順5】マグネットシートの取り付け

※ラッチ受けがステンレス製の場合、磁力がないため両面テープなどでマグネットシートを取り付けてください。



【手順6】ワイヤー取付金具の位置合わせ

図のように、本体のワイヤー位置に合わせてワイヤー取付金具をドアにかぶせ、位置決めします。

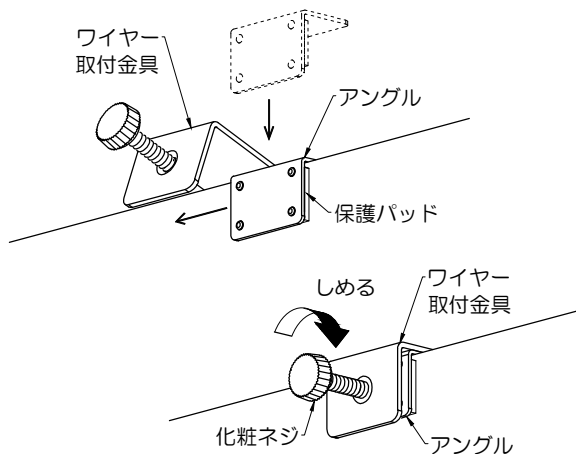


位置を合わせる

上から見た図

【手順7】ワイヤー取付金具の固定

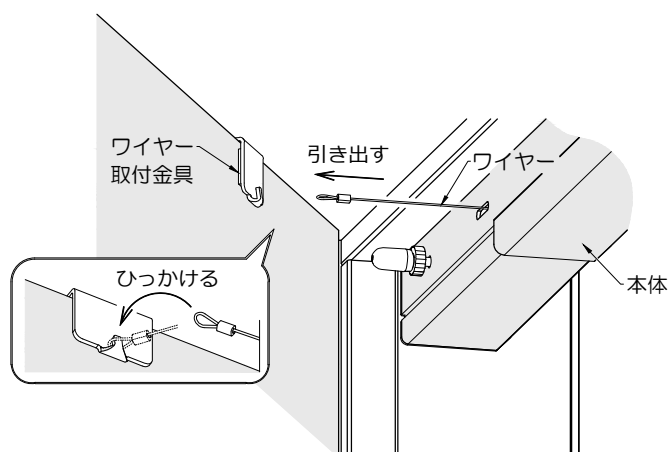
位置がずれないようにワイヤー取付金具の内側へアングルを入れます。化粧ネジをしめ、ワイヤー取付金具を固定してください。



※金具が変形しないようしめすぎに注意してください。

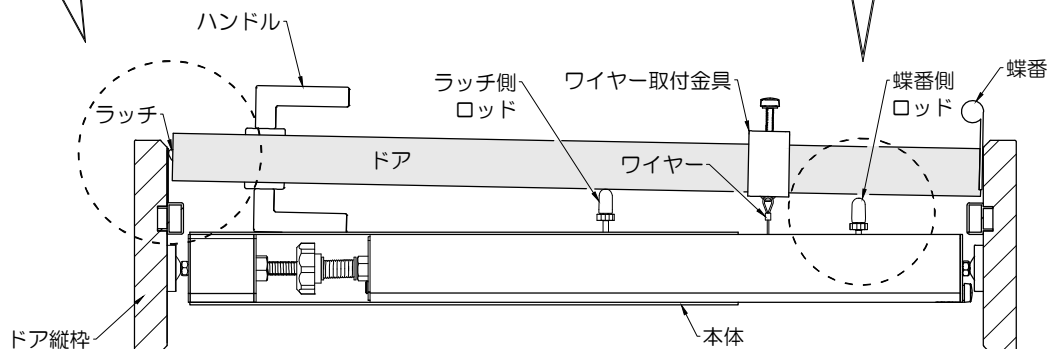
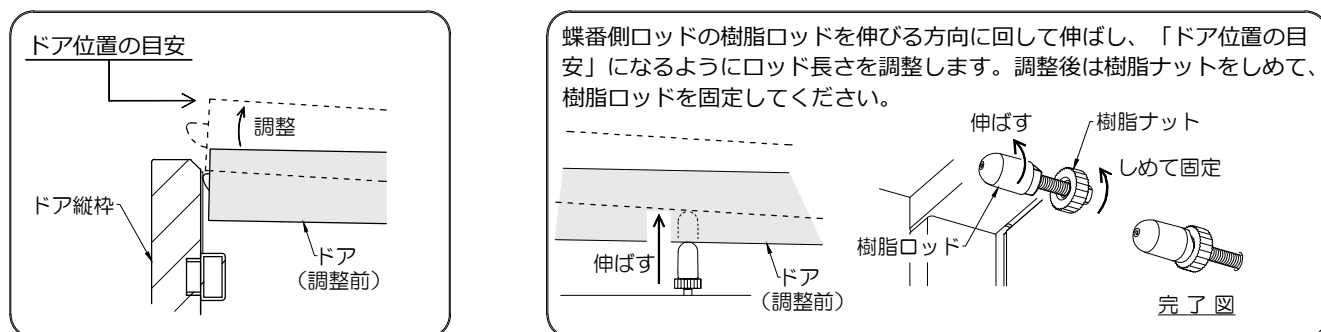
【手順8】ワイヤーの取り付け

本体からワイヤーを引き出し、ワイヤー取付金具のフック部へひっかけます。



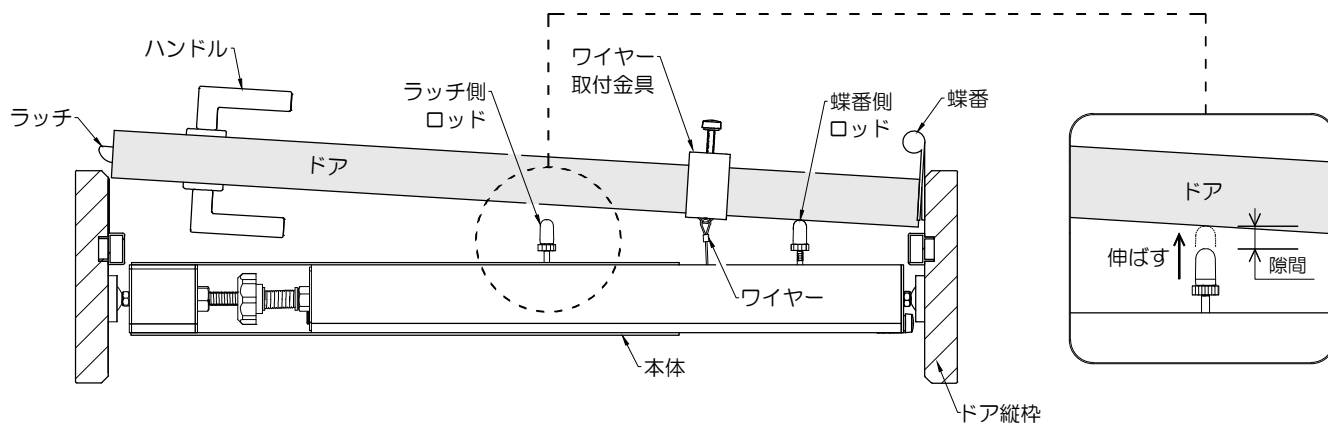
【手順9】 ロッド長さの調整

Step.1 ドアが完全に閉まっていない状態が基本位置となります。ドア縦枠とドアの隙間が「ドア位置の目安」(左下図)程度になるように蝶番側ロッドを調整します。

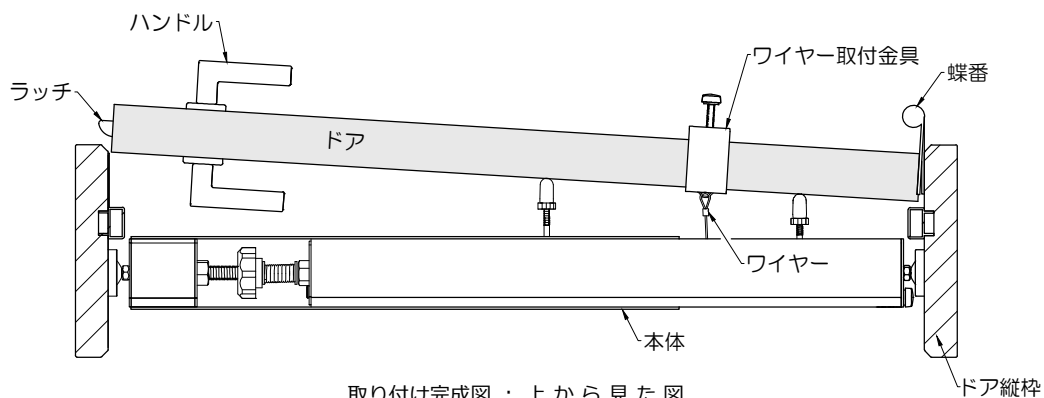


ロッド調整前の状態：上から見た図

Step.2 ラッチ側ロッドを調整します。ドアまでの隙間がなくなるように、Step. 1の要領で樹脂ロッドを伸ばし、固定してください。



Step.1完了後の状態：上から見た図



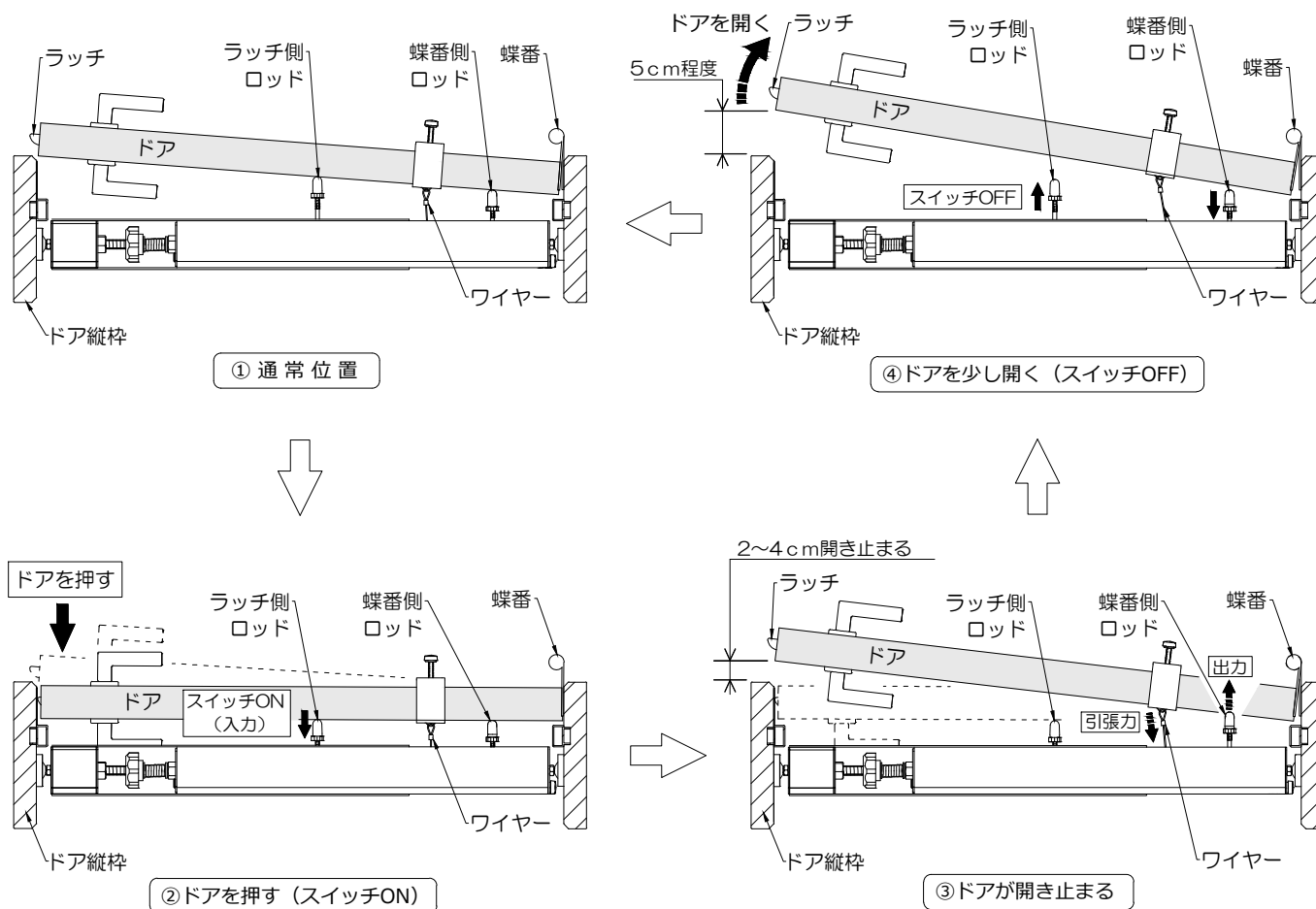
取り付け完成図：上から見た図

【手順10】動作確認・調整方法

動作概要

ドアはワイヤーの引張力によって、常時自動で閉まるようになります。動作の概要は次のようになります。

- ①通常位置の状態。ドアはワイヤーによって引き寄せられ常時この状態となります。
- ②通常位置からドアを押すと、ラッチ側ロッドが押され、スイッチが入った状態(入力)となります。
- ③スイッチが入ると、蝶番側ロッドがドアを押す方向に出力してドアが開きますが、ワイヤーの引張力と蝶番側ロッドの出力が釣り合ってドアが2～4cm開いた状態でドアが止まります。
※ドアの開き量は室内の気密状況、ドアの開閉重さ等々により異なります。2～4cmはあくまでも目安となります。
- ④開いた隙間からペットが通過する際、ドアが少し開く(5cm程度)ことによって、スイッチが解除され通常位置に戻ります。

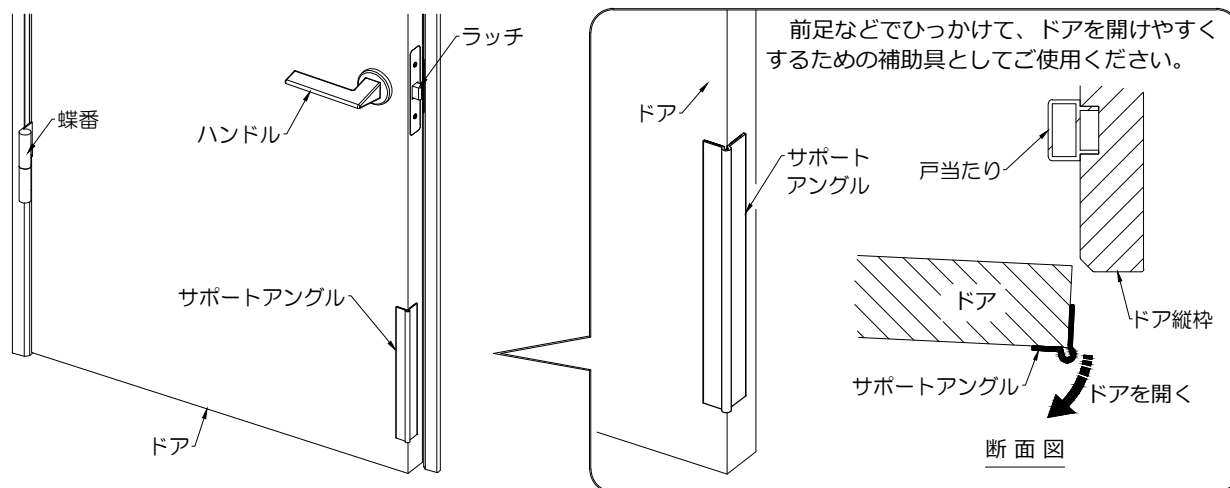


動作概要図：上から見た図

※動作概要①～④通りに作動しない場合は、8～10ページの「困ったときは」をご参照ください。

サポートアングルについて

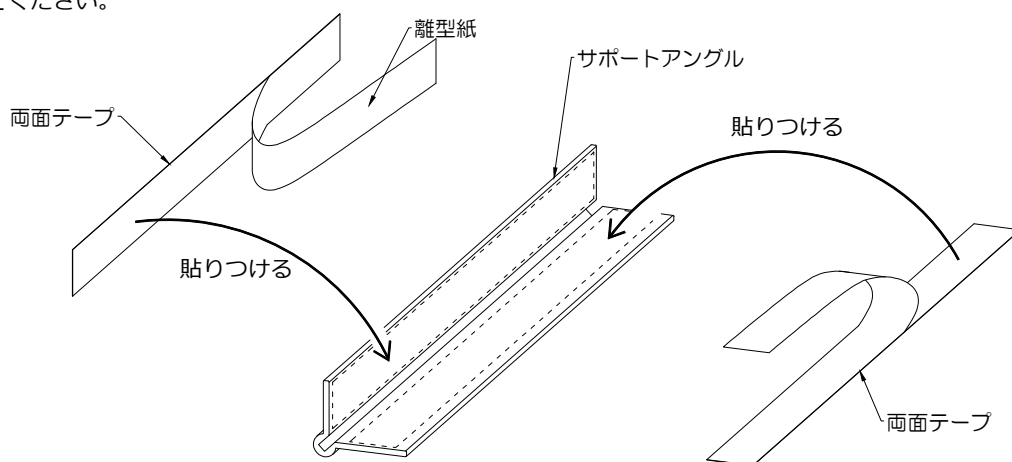
体重の軽い愛犬や愛猫はドアを押すことが難しい場合があります。その場合は付属の「サポートアングル」をご使用ください。



サポートアングルの取付方法

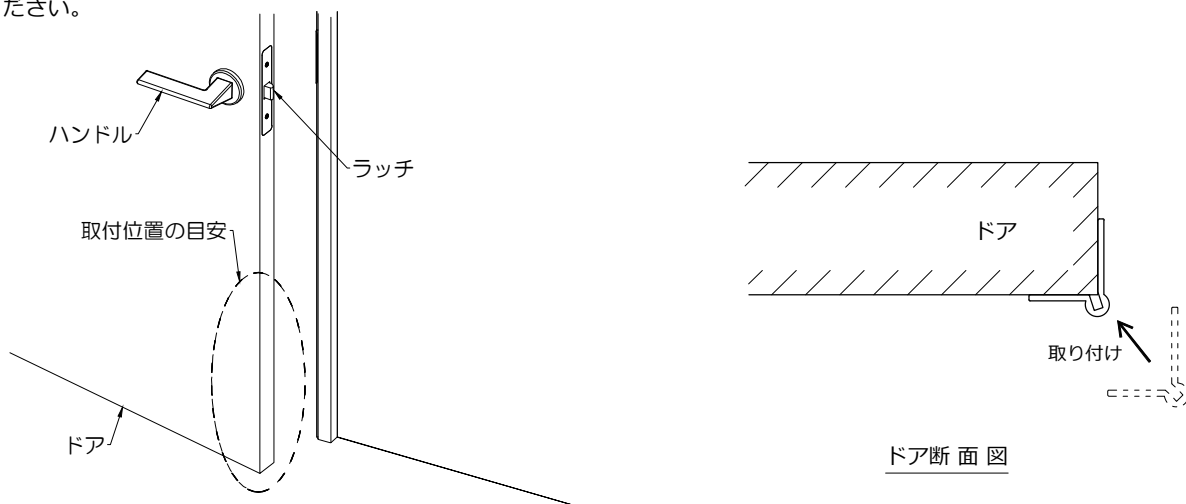
【手順1】 サポートアングルに両面テープを貼りつける

ドアへのサポートアングルの取り付けは、付属の両面テープでおこないます。図の位置へ付属の両面テープの離型紙をはがし、点線の位置に貼りつけてください。



【手順2】 ドアへサポートアングルを取り付ける

手順1で貼りつけた両面テープの離型紙をはがし、ドアの角に取り付けてください。取付位置は愛犬や愛猫が開けやすそうな位置に取り付けてください。



取付動画のご案内

わん・にゃんフリーパスの取り付け方法を以下に紹介しております。ご参考にしてください。

<QRコード>

<取り付け方法動画URL>

<https://youtu.be/aGgDL5G4evk>



困ったときは

修理依頼やお問い合わせの前に、ご確認ください。

△ 注意 お客様ご自身で、分解・修理・改造しないでください。

はじめに

ドアの質量や大きさ、使用環境によってドアの作動速度やドアの開く量が異なる場合があります。
1ページの「△ 注意」に書かれている内容をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
以下は1ページの「△ 注意」から一部抜粋した内容になります。

以下の場合には本製品をご使用になれません。

- ①鉄扉等を使用している場合(本製品は屋内用木製ドア専用の製品です。)
- ②気密性の高いドアやサッシ(※エアタイト)を使用している場合

以下の場合には本製品が正常に作動しない場合があります。

- ③・ワイヤー取付金具がドア上枠にすれている場合
 - ・マグネットシート、サポートアングルがドア又は、ドア枠にすれている場合
 - ・ドアが床、カーペットなどにすれている場合

対策方法

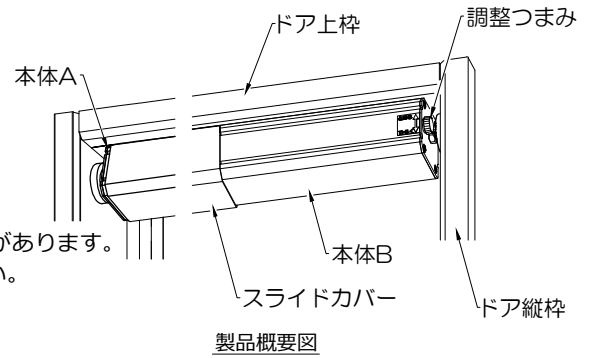
- ドアに調整機能があれば、すれない位置までドアを調整してください。
- ・ワイヤー取付金具を右図のように取り付けている場合は、アングルの保護パッドが付いている方がドアの正面にくるように正しく取り付けてください。
- ・サポートアングルや、カーペットがすれている場合は、支障がなければ外してください。

- ④換気扇を使用している場合

対策方法 → 換気扇を止めて、ご使用ください。

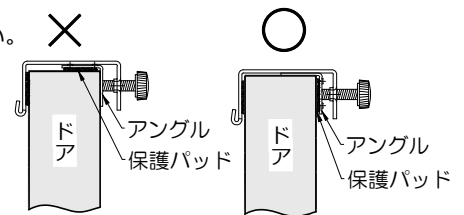
- ⑤窓を開けて使用されている場合

対策方法 → 窓を閉めて、ご使用ください。



※エアタイト

気密性の高いドアやサッシ
ドア枠(サッシ枠)周りの、ゴムパッキンなどで
空気を遮断する機能のあるドアやサッシ



【現象.1】ドアが全く開かない(スイッチがONにならない or ONになっても開かない)または、開く量が少ない

確認事項

- ①8ページの「はじめに」の①～④に該当していませんか？
- ②2ページの「手順1 距離の計測」、「手順2 ロッドの選定」通りにロッドを選定できていますか？
- ③2ページの「手順4 ロッドの取り付け」通りにロッドを取り付けてできていますか？
- ④5ページの「手順9 ロッド長さの調整」通りにロッドを調整できていますか？
- 6ページの「手順10 動作確認・調整方法」の手順に従って動作確認したとき、どういう状況になっていますか？

対策方法

- ①それぞれに合った対策をしてください。
- ②戸当たりからドアまでの距離に適したロッドへ変更してください。
- ③短い方のロッドをラッチ側、長い方のロッドを蝶番側に変更してください。
- ④ドアが全く開かない場合

＜パターン1：スイッチがONになっていない＞

- ・ラッチ側ロッドの長さ不足のため、スイッチがONになるまでラッチ側ロッドを伸ばしてください。
- その後、伸ばした分、蝶番側ロッドも伸ばしてください。

＜パターン2：スイッチがONになっている＞

- ・蝶番側ロッドの長さ不足のため、蝶番側ロッドを伸ばしてください。

補 足

スイッチがONになっているかどうかの確認は、ドアを押した後に2cmほどドアを開けてください。
その際にラッチ側ロッドが引っ込んだままなら、スイッチがONになっています。
引っ込まずに飛び出てきたら、スイッチはONになっていません。

ドアの開く量が少ない(2cm以下)場合

- ・調整つまみを「ひらく」方向に回してください。

その他の原因

ワイヤーの引張力が強い場合、ドアが開かない、または開く量が少ない可能性があります。

対策方法

ワイヤー取付金具を蝶番側に1cm程度ずらしてください。

※ずらした後、製品の動作確認をおこなって、正常に作動するか確認してください。

補 足

ワイヤーはドアのラッチ側より蝶番側の方が、大きな力でドアを引っ張る必要があります。
そのため、ワイヤー取付金具を蝶番側に動かすことによって、同じ力でもドアを引っ張る力を弱くすることができます。

【現象.2】ドアは開くが、2～4cmで止まらず閉まる(スイッチがすぐOFFになる)

確認事項

- ④8ページの「はじめに」の④、⑤に該当していませんか？
- ⑤2ページの「手順1 距離の計測」、「手順2 ロッドの選定」通りにロッドを選定できていますか？
- ⑥2ページの「手順4 ロッドの取り付け」通りにロッドを取り付けてできていますか？
- ⑦5ページの「手順9 ロッド長さの調整」通りにロッドを調整できていますか？
- 6ページの「手順10 動作確認・調整方法」の手順に従って動作確認したとき、どのような状況になっていますか？

対策方法

- ①それぞれに合った対策をしてください。
- ②戸当たりからドアまでの距離に適したロッドへ変更してください。
- ③短い方のロッドをラッチ側、長い方のロッドを蝶番側に変更してください。
- ④・ドアが止まるまで、調整つまみを「とめる」方向に回しながら動作確認し調整してください。
 - ・「とめる」方向に最大まで回しても止まらない場合は、ラッチ側ロッドを縮めてください。
(縮めすぎるとスイッチが入らなくなりますので、スイッチが入る程度まで縮めてください)

補 足

ラッチ側ロッドが長すぎると、ドアを押したとき、ロッドを過剰に押しすぎてしまい、その反動でドアが開き易くなります。

その他の原因

ワイヤーの引張力が弱いため、ドアは開くが、2～4cmで止まらず閉まる可能性があります。

対策方法

ワイヤー取付金具の位置をラッチ側に1cm程度ずらしてください。

※ずらした後、製品の動作確認をおこなって、正常に作動するか確認してください

補 足

ワイヤーはドアの蝶番側よりラッチ側の方が、少ない力でドアを引っ張ることが出来ます。
そのため、ワイヤー取付金具をラッチ側に動かすことによって、同じ力でもドアを引っ張る力を強くすることができます。

【現象.3】ドアが通常位置に戻らず2～4cm開いたまま閉まらない(スイッチがOFFにならない)

確認事項

- ④8ページの「はじめに」の①～④に該当していませんか？
- ⑤2ページの「手順1 距離の計測」、「手順2 ロッドの選定」通りにロッドを選定できていますか？
- ⑥5ページの「手順9 ロッド長さの調整」通りにロッドを調整できていますか？
- 6ページの「手順10 動作確認・調整方法」の手順に従って動作確認したとき、どのような状況になっていますか？

対策方法

- ①それぞれに合った対策をしてください。
- ②戸当たりからドアまでの距離に適したロッドへ変更してください。
- ③・ドアが通常位置に戻るまで、調整つまみを「ひらく」方向に回しながら動作確認し調整してください。
 - ・ドアが止まらなくなった場合は、9ページの【現象.2】
「ドアは開くが、2～4cmで止まらず閉まる(スイッチがすぐOFFになる)」対策方法④をおこなってください。

【現象.4】ドアが通常位置に戻らず開いた状態のままで止まる(ドアが重い、または動作がスムーズでない)

確認事項

- ④8ページの「はじめに」の③に該当していませんか？
- ⑤ドアの開閉の途中で、重たくなるなどの不具合はありませんか？

対策方法

- ①それぞれに合った対策をしてください。
- ②ワイヤーの引張力が弱いため、ドアが通常位置に戻らず開いた状態のままで止まる可能性があります。

ワイヤー取付金具の位置をラッチ側に1cm程度ずらしてください。

※ずらした後、製品の動作確認をおこなって、正常に作動するか確認してください。

補 足

ワイヤーはドアの蝶番側よりラッチ側の方が、少ない力でドアを引っ張ることが出来ます。
そのため、ワイヤー取付金具をラッチ側に動かすことによって、同じ力でもドアを引っ張る力を強くすることができます。

【現象.5】ドアの閉まりが遅い

対策方法

ワイヤーの引張力が弱いため、ドアの閉まりが遅い可能性があります。

ワイヤー取付金具をラッチ側に1cm程度ずらしてください。

※ずらした後、製品の動作確認をおこなって、正常に作動するか確認してください。

補足

ワイヤーはドアの蝶番側よりラッチ側の方が、少ない力でドアを引っ張ることが出来ます。

そのため、ワイヤー取付金具をラッチ側に動かすことによって、同じ力でもドアを引っ張る力を強くすることができます。

【現象.6】調整つまみで調整できない(調整つまみの不具合)

確認事項

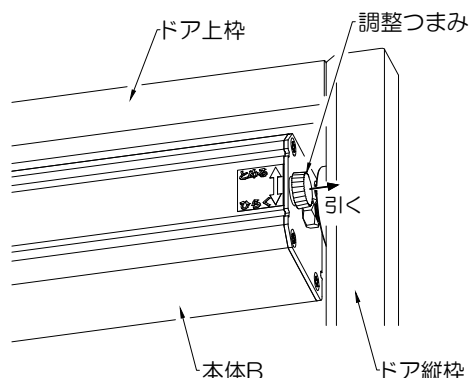
「とめる」方向に調整つまみを最大まで回してください。

その後「ひらく」方向に調整つまみを2~3周回してください。

調整つまみはスプリングで引っ張られているため、外側に調整つまみを引いて抵抗があるか確認してください。

抵抗がない場合は、製品不良の可能性があります。

お買い求められました販売店までお申し付けください。

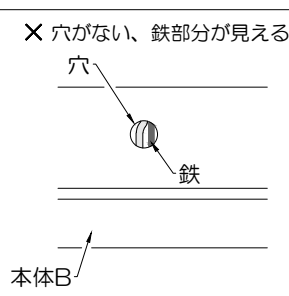
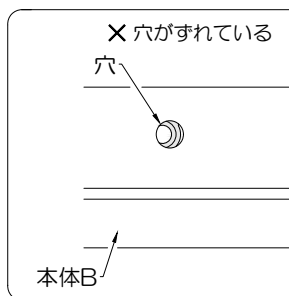
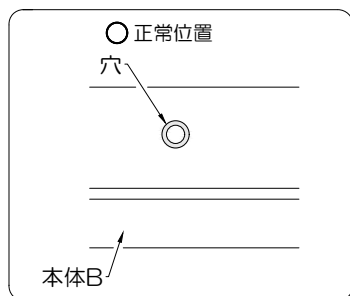


【現象.7】ロッド棒が本体に入らない

対策方法

ロッド棒が入らない部分(本体の穴)の状況→穴がない、穴がずれている、鉄部分が見えている場合は、製品不良の可能性があります。

お買い求められました販売店までお申し付けください。



【現象.8】樹脂ロッドが入らない

対策方法

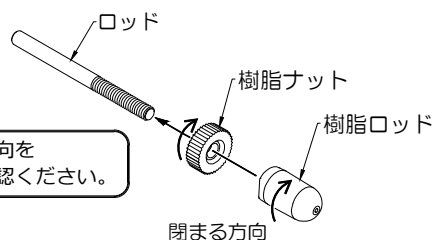
硬くても、傾かないようまっすぐ樹脂ロッドを閉まる方向に締め込んでください。

(閉める方向：右図の矢印の方向)

どうしても入らない場合は、お買い求められました販売店までお申し付けください。代替部品をお送りします。



閉まる方向をよくご確認ください。



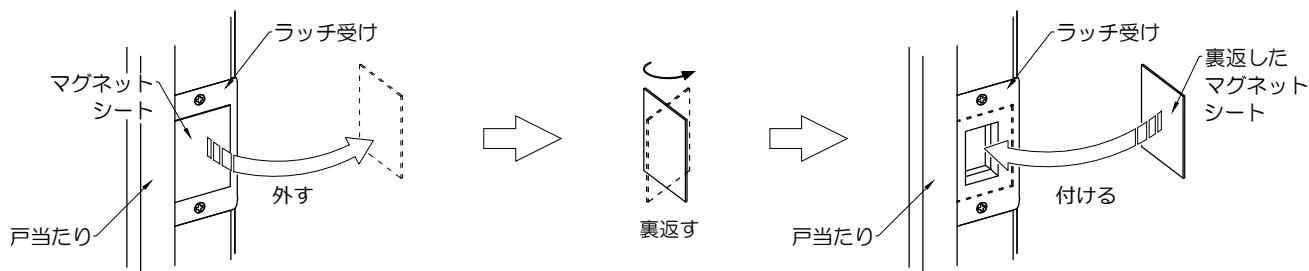
【現象.9】マグネットシートが付かない

対策方法

マグネットシートを裏返して取り付けてください。

改善されない場合はラッチ受けがステンレス製の可能性があります。

その場合は、磁力に反応しないため、両面テープなどでマグネットシートをラッチ受けに貼り付けてください。

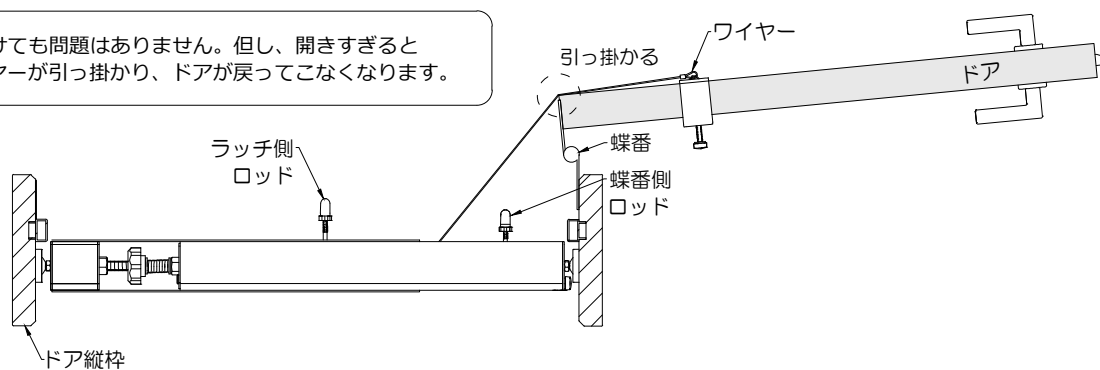


【Q.1】 ドアはどこまで開けて良いの？

90°程度でドアの開閉をおこなってください。

補 足

90°以上ドアを開けても問題はありません。但し、開きすぎるとドアの根元でワイヤーが引っ掛かり、ドアが戻ってこなくなります。

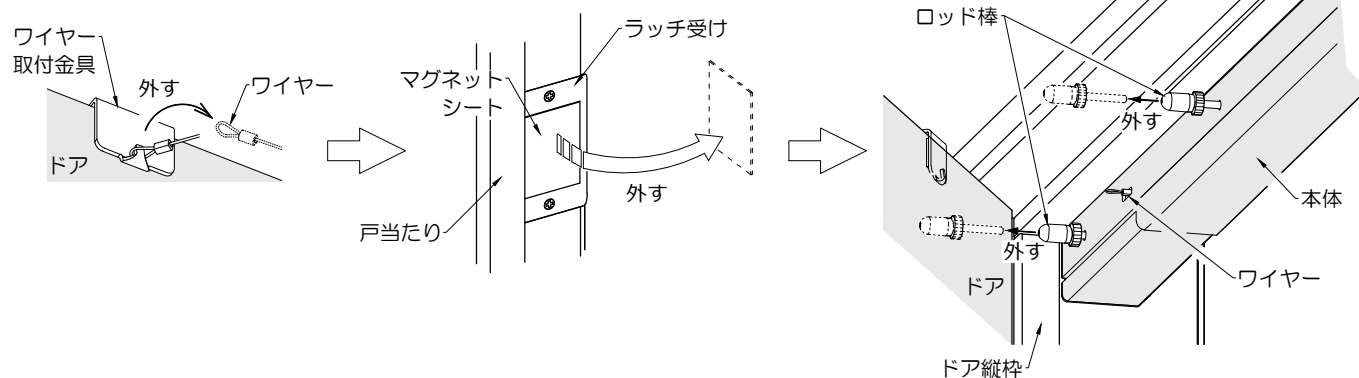


【Q.2】 製品を付けたまま機能をオフにする方法は？

- ・ワイヤー取付金具のフック部分に引っ掛けているワイヤーを外します。
- ・ラッチ受けに付いているマグネットシートを外します。
- ・製品本体に付いているロッド棒を2本とも外します。

※順不同

- 取り外したロッド棒2本、マグネットシートはいつでも使用できるよう大切に保管してください。



修理と製品保証について

本書は、当社の製品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、購入店に修理をご依頼ください。また、お買い上げの際の領収書、レシート、納品書などは保証開始日の確認のために必要になります。修理の際にはご提示願いますので大切に保管してください。

○保証期間

ご購入日より1年間

○保証内容

保証の対象は本製品のみです。本製品の不具合に起因する付随的損害は保証の対象外となります。

取扱説明書、注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

○免責事項

以下の場合に該当する不具合であると当社が判断するものについては、保証の対象外となり、当社が修理する場合は有料となります。

- ①取扱説明書に記載された事項に反した取り付けや取り扱いによる不具合
- ②お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障
- ③製品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)、経年劣化(部材の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かび又はその他の不具合
- ④大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食による不具合及び異常な高温・低温・多湿による不具合
- ⑤天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって製品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑥犯罪などの不法な行為による破損や不具合
- ⑦保証期間経過後に申し出たもの、または保証期間内でも初期の損傷を当社に速やかに連絡せず、長時間放置した為に生じたことによる不具合
- ⑧お客様自身での修理、改造(必用部品の取り外し)に起因する不具合
- ⑨本製品以外での建築施工上の欠陥による不具合
- ⑩本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合
- ⑪保証書のご提示がない場合
- ⑫保証書にご購入年月日、購入店名の記入捺印又はそれに代わる保証開始時期を証明するもの(お買い上げレシートなど)がない場合

わん・にゃんフリーパス保証書

保証期間	お買い上げ日より 1年間		
お買い上げ日	年 月 日		
お客様	ご住所		
	お名前	電話	
販売店名	Ⓔ		

○本保証書は日本国内においてのみ有効です。

○保証期間経過後の修理、交換などは有料となります。

○返品の際、運賃等の諸経費はお客様にご負担いただく場合があります。

※本書によって、お客様の法律上の権限を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、購入店にお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせは右記までご連絡ください。



森村金属株式会社

〒578-0912 東大阪市角田1-8-1

ホームページ <http://www.morison.co.jp>



mail@morison.co.jp

通話料無料 0120-267-762

受付時間/月～金 9:00～17:00
(昼休み時間12:00～12:50・土・日・祝日は除く)

※不具合に関するお問い合わせは、お買い求められました販売店までお申し付けください。